



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 青山商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画管理本部長 (氏名) 財津 伸二

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

平成30年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	105,192	3.0	1,061	70.0	1,586	59.6	123	
30年3月期第2四半期	108,438	2.2	3,543	13.4	3,930	27.7	1,995	20.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 692百万円 (%) 30年3月期第2四半期 3,921百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	2.45	
30年3月期第2四半期	38.82	38.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	370,632	221,762	59.0
30年3月期	397,332	230,518	57.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 218,620百万円 30年3月期 227,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		50.00		120.00	170.00
31年3月期		50.00			
31年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 30年3月期配当金の内訳 普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭) 特別配当 70円00銭(期末70円00銭)
31年3月期配当金(予想)の内訳 普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭)

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	252,700	0.8	15,000	27.2	15,850	25.6	6,420	44.0	128.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	55,394,016 株	30年3月期	55,394,016 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	5,414,854 株	30年3月期	4,915,229 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	50,145,504 株	30年3月期2Q	51,409,314 株

(注)期末自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(31年3月期2Q 184,000株、30年3月期 184,600株)が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(31年3月期2Q 184,450株、30年3月期2Q 185,650株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成30年11月14日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

平成31年3月期の個別業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	186,170	△1.4	13,600	△25.5	14,840	△20.1	7,860	△31.3	157.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10
3. (参考) 四半期財務諸表(個別)	11
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	11
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	13
4. 補足情報	14
(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高	14
(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	72,491	75,020	△2,529	96.6	659	2,572	△1,912	25.6
カジュアル事業	7,023	8,241	△1,218	85.2	△587	△161	△426	—
カード事業	2,575	2,475	99	104.0	1,165	985	180	118.3
印刷・メディア事業	5,355	5,083	271	105.3	△212	△88	△124	—
雑貨販売事業	8,015	8,108	△93	98.8	357	416	△59	85.7
総合リペアサービス事業	6,181	6,061	119	102.0	△422	△269	△153	—
その他	5,098	4,833	265	105.5	82	58	23	139.9
調整額	△1,546	△1,385	△161	—	20	30	△10	66.3
合計	105,192	108,438	△3,245	97.0	1,061	3,543	△2,481	30.0

(注) セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性などから、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、ビジネスウェア事業の収益力、競争力の強化を目指した諸施策を実施するとともに、グループ経営の基盤整備と収益力強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 1,051億92百万円(前年同期比97.0%)

営業利益 10億61百万円(前年同期比30.0%)

経常利益 15億86百万円(前年同期比40.4%)

親会社株主に帰属する四半期純損失 1億23百万円

(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益19億95百万円)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下のセグメント別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

[青山商事(株)ビジネスウェア事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司]

当事業の売上高は724億91百万円(前年同期比96.6%)、セグメント利益(営業利益)は6億59百万円(前年同期比25.6%)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)のビジネスウェア事業につきましては、「洋服の青山」1店舗(建替開店)及び「ザ・スーツカンパニー」1店舗を出店し、非効率な11店舗(「洋服の青山」6店舗、「ザ・スーツカンパニー」1店舗、「ユニバーサルランゲージ」3店舗、「UL OUTLET」1店舗)を閉店いたしました。商品面では①制菌 ②抗菌防臭 ③速乾 ④高通気 ⑤接触冷感 ⑥UVカット ⑦防シワ ⑧形態安定の8つの機能を備えた夏用ビジネスシャツや、梅雨時期に対応した“雨に強くムレにくい”防水ビジネスシューズなど、高機能商品の品揃えを強化いたしました。

レディスにつきましては、メンズスーツで人気の高い熱遮蔽機能素材『coldblack®』を使用した夏用スーツや、フォーマルが好調に推移いたしました。

しかしながら、客数減少などにより、ビジネスウェア事業の既存店売上高は前年同期比96.0%となりました。

＜ビジネスウェア事業の既存店売上・客数・客単価の前期比推移＞ (単位：%)

	平成28年9月期	平成29年9月期	平成30年9月期
売上	99.8	98.1	96.0
客数	97.1	98.8	94.7
客単価	102.8	99.3	101.4

なお、当第2四半期まで(4月～9月)のメンズスーツの販売着数は前年同期比93.9%の710千着、平均販売単価は前年同期比99.8%の27,883円となりました。

＜メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移＞

	平成28年9月期	平成29年9月期	平成30年9月期
販売着数(千着)	772	756	710
平均販売単価(円)	28,393	27,946	27,883

当第2四半期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数(平成30年9月末現在)＞ (単位：店)

業態名	青山商事(株)ビジネスウェア事業						青山洋服商業(上海)有限公司
	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ユニバーサルランゲージメジャーズ	ホワイトザ・スーツカンパニー	合計	洋服の青山
出店〔内 建替〕(4月～9月)	1〔1〕	1	0	0	0	2〔1〕	6
閉店(4月～9月)	6	1	4	0	0	11	1
期末店舗数(9月末)	806	58	9	3	10	886	29

- (注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサルランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。
 2. 青山洋服商業(上海)有限公司の出店・閉店は平成30年1月～6月、期末店舗数は平成30年6月末の店舗数であります。

《カジュアル事業》〔青山商事(株)カジュアル事業、(株)イーグルリテイリング〕

当事業につきましては、客数減少などにより、売上高は70億23百万円(前年同期比85.2%)、セグメント損失(営業損失)は5億87百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)1億61百万円)となりました。

当第2四半期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜カジュアル事業における業態別の出退店及び期末店舗数(平成30年9月末現在)＞ (単位：店)

業態名	青山商事(株)カジュアル事業		(株)イーグルリテイリング
	キャラジャ	リーバイスストア	アメリカンイーグルアウトフィッターズ
出店(4月～9月)	0	0	0
閉店(4月～9月)	4	0	0
期末店舗数(9月末)	2	9	34

(注) 「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」にはアウトレット店を含めております。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング収入の増加などから、売上高は25億75百万円(前年同期比104.0%)、セグメント利益(営業利益)は11億65百万円(前年同期比118.3%)となりました。

なお、資金につきましては、親会社であります青山商事(株)等からの借入と社債の発行により調達しております。

＜カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移＞

	平成29年8月期	平成30年2月期	平成30年8月期
有効会員数(万人)	410	414	421
営業貸付金残高(百万円)	54,695	55,100	55,273

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、電子販促・販促物の受注増加などから、売上高は53億55百万円（前年同期比105.3%）となる一方、売上総利益率の低下などから、セグメント損失（営業損失）は2億12百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）88百万円）となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、売上高は80億15百万円（前年同期比98.8%）、セグメント利益（営業利益）は3億57百万円（前年同期比85.7%）となりました。なお、平成30年8月末の店舗数は118店舗であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、出店等により売上高は61億81百万円（前年同期比102.0%）となる一方、サービス多角化や出店加速などによる事業拡大を図るための先行投資の増加などから、セグメント損失（営業損失）は4億22百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）2億69百万円）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（平成30年9月末現在）＞ （単位：店）

地域	ミスターミニット			
	日本	オセアニア	その他	合計
出店（4月～9月）	10	6	5	21
閉店（4月～9月）	5	3	3	11
期末店舗数（9月末）	315	279	39	633

（注）「オセアニア」はオーストラリア、ニュージーランド、「その他」はシンガポール、マレーシア、中国であります。

《その他》〔青山商事(株)リユース事業、(株)glob、(株)WTW〕

その他の事業につきましては、売上高は50億98百万円（前年同期比105.5%）、セグメント利益（営業利益）は82百万円（前年同期比139.9%）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜その他の事業における業態別の出退店及び期末店舗数（平成30年9月末現在）＞ （単位：店）

業態名	青山商事(株)リユース事業		(株)glob		(株)WTW	
	セカンドストリート	ジャンブルストア	焼肉きんぐ	ゆず庵	ダブルティアー	ダブルティアーサーフクラブ
出店（4月～9月）	1	0	1	0	0	0
閉店（4月～9月）	0	0	0	0	0	0
期末店舗数（9月末）	12	2	29	11	5	1

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	261,500	20,000	20,600	11,400	225.84
今回修正予想 (B)	252,700	15,000	15,850	6,420	128.45
増減額 (B-A)	△8,800	△5,000	△4,750	△4,980	—
増減率 (%)	△3.4	△25.0	△23.1	△43.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	254,846	20,591	21,311	11,461	224.81

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	192,780	17,200	18,230	11,340	224.65
今回修正予想 (B)	186,170	13,600	14,840	7,860	157.27
増減額 (B-A)	△6,610	△3,600	△3,390	△3,480	—
増減率 (%)	△3.4	△20.9	△18.6	△30.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	188,853	18,260	18,578	11,438	224.35

《連結業績予想及び個別業績予想》

ビジネスウェア事業及びカジュアル事業の業績が前回発表予想を大幅に下回る見込みであることから、平成30年5月11日に公表した平成31年3月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想を上記のとおり修正いたします。

中核事業であります青山商事(株)ビジネスウェア事業の上期については、猛暑と豪雨等による天候要因及びそれに伴う災害による影響もあり、既存店売上高は前年同期比96%(前回発表予想は前年同期比101.5%)となりましたが、下期の既存店売上高は前年同期比100%(前回発表予想は前年同期比102.6%)を目指してまいります。

＜青山商事(株)ビジネスウェア事業 既存店売上前期比の前提＞

上期実績(前回発表予想)	下期予想(前回発表予想)	通期予想(前回発表予想)
96.0%(101.5%)	100.0%(102.6%)	98.4%(102.2%)

《配当予想》

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	50.00 (普通配当50.00)	—	110.00 内 普通配当50.00 特別配当60.00	160.00 内 普通配当100.00 特別配当 60.00
今回修正予想	—	—	—	50.00 (普通配当50.00)	100.00 (普通配当100.00)
当期実績	—	50.00 (普通配当50.00)	—	—	—
前期実績 (平成30年3月期)	—	50.00 (普通配当50.00)	—	120.00 内 普通配当50.00 特別配当70.00	170.00 内 普通配当100.00 特別配当 70.00

上記のとおり、平成31年3月期の業績予想が当初計画を下回る見通しとなったことから、中期経営計画『CHALLENGE II 2020』の株主還元方針に則り、当期の配当予想につきましては、前回予想の1株当たり160円から、安定配当である1株当たり100円に修正いたします。

＜参考＞『CHALLENGE II 2020』株主還元方針

1. 株主還元方針 中期経営計画期間中(2018年度から2020年度)、連結総還元性向100%を目処とした配当、自己株式取得を行う。
2. 配当方針 連結配当性向70%を目処とする。安定的な配当である普通配当を1株当たり100円(中間配当50円、期末配当50円)とし、配当性向70%を目処に計算した配当が100円を上回る場合は、その差を業績連動配当として期末に特別配当を実施する。
3. 自己株式取得方針 連結当期純利益の100%から配当総額を差し引いた金額を目処に自己株式の取得を実施する。

なお、業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,437	47,385
受取手形及び売掛金	20,346	11,511
有価証券	20,499	16,000
商品及び製品	50,222	53,498
仕掛品	1,373	1,449
原材料及び貯蔵品	1,514	1,589
営業貸付金	55,100	55,273
その他	2,993	3,426
貸倒引当金	△266	△272
流動資産合計	211,221	189,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,253	56,969
土地	37,684	37,706
その他(純額)	10,210	10,178
有形固定資産合計	107,148	104,853
無形固定資産		
のれん	11,404	10,875
その他	8,040	7,764
無形固定資産合計	19,444	18,639
投資その他の資産		
敷金及び保証金	26,728	25,688
その他	32,762	31,545
貸倒引当金	△57	△25
投資その他の資産合計	59,434	57,209
固定資産合計	186,027	180,701
繰延資産合計	83	70
資産合計	397,332	370,632
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,023	14,460
電子記録債務	16,631	12,398
短期借入金	17,550	18,650
未払法人税等	4,549	1,379
賞与引当金	1,886	1,786
その他	14,417	9,628
流動負債合計	76,059	58,303
固定負債		
社債	24,000	24,000
長期借入金	47,500	47,000
退職給付に係る負債	9,314	9,565
ポイント引当金	3,158	3,056
その他	6,781	6,944
固定負債合計	90,753	90,566
負債合計	166,813	148,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,533	62,533
利益剰余金	137,137	130,936
自己株式	△19,665	△21,622
株主資本合計	242,510	234,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,436	2,714
繰延ヘッジ損益	△17	25
土地再評価差額金	△16,015	△16,015
為替換算調整勘定	△257	△380
退職給付に係る調整累計額	△2,221	△2,075
その他の包括利益累計額合計	△15,076	△15,731
非支配株主持分	3,085	3,141
純資産合計	230,518	221,762
負債純資産合計	397,332	370,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	108,438	105,192
売上原価	48,464	48,257
売上総利益	59,973	56,935
販売費及び一般管理費	56,429	55,873
営業利益	3,543	1,061
営業外収益		
受取利息	59	49
受取配当金	118	137
不動産賃貸料	554	676
為替差益	77	26
その他	214	249
営業外収益合計	1,023	1,139
営業外費用		
支払利息	64	65
デリバティブ評価損	70	—
不動産賃貸原価	435	494
その他	65	54
営業外費用合計	636	614
経常利益	3,930	1,586
特別利益		
固定資産売却益	0	56
特別利益合計	0	56
特別損失		
固定資産除売却損	60	244
減損損失	331	393
災害による損失	—	308
特別損失合計	392	946
税金等調整前四半期純利益	3,537	697
法人税等	1,387	726
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,150	△29
非支配株主に帰属する四半期純利益	154	93
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,995	△123

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,150	△29
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,158	△721
繰延ヘッジ損益	△8	43
為替換算調整勘定	552	△130
退職給付に係る調整額	69	145
その他の包括利益合計	1,771	△663
四半期包括利益	3,921	△692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,771	△777
非支配株主に係る四半期包括利益	150	84

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年6月5日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施し、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,958百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は21,622百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却

当社は、平成30年11月9日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の一部を消却することを決議いたしました。

自己株式の消却の内容

(1) 消却する株式の種類	当社普通株式
(2) 消却する株式の総数	5,000,000株 (消却前の発行済株式総数(自己株式を含む)に対する割合 9.03%)
(3) 消却後の発行済株式総数 (自己株式を含む)	50,394,016株
(4) 消却予定日	平成30年11月20日

3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,697	32,951
有価証券	20,499	16,000
商品及び製品	44,259	47,489
原材料及び貯蔵品	574	559
関係会社短期貸付金	17,300	18,400
その他	15,358	7,253
貸倒引当金	△7	△2
流動資産合計	144,682	122,651
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	44,312	42,509
土地	35,290	35,343
その他(純額)	13,938	13,397
有形固定資産合計	93,541	91,249
無形固定資産		
投資その他の資産	2,802	2,631
投資有価証券	10,938	9,943
敷金及び保証金	25,109	24,020
その他	55,987	56,290
貸倒引当金	△4,617	△4,588
投資その他の資産合計	87,417	85,665
固定資産合計	183,760	179,547
資産合計	328,443	302,198
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,130	7,596
電子記録債務	16,401	12,252
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	3,800	941
賞与引当金	1,213	1,144
その他	12,406	6,824
流動負債合計	56,953	38,760
固定負債		
長期借入金	40,000	40,000
退職給付引当金	5,231	5,696
ポイント引当金	3,147	3,046
その他	4,109	4,330
固定負債合計	52,488	53,073
負債合計	109,441	91,833

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成30年9月30日)
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,526	62,526
利益剰余金	126,017	120,058
自己株式	△19,665	△21,622
株主資本合計	231,382	223,466
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,434	2,713
土地再評価差額金	△15,814	△15,814
評価・換算差額等合計	△12,380	△13,101
純資産合計	219,001	210,365
負債純資産合計	328,443	302,198

(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	74,969	72,619
売上原価	29,733	29,436
売上総利益	45,235	43,183
販売費及び一般管理費	42,948	42,842
営業利益	2,287	340
営業外収益		
受取利息	90	81
受取配当金	533	537
不動産賃貸料	1,729	1,848
為替差益	78	9
その他	130	155
営業外収益合計	2,564	2,632
営業外費用		
支払利息	58	58
デリバティブ評価損	70	—
不動産賃貸原価	1,605	1,658
その他	33	14
営業外費用合計	1,768	1,732
経常利益	3,082	1,241
特別利益		
固定資産売却益	—	54
特別利益合計	—	54
特別損失		
固定資産除売却損	35	206
減損損失	313	372
災害による損失	—	308
特別損失合計	348	887
税引前四半期純利益	2,734	407
法人税等	977	287
四半期純利益	1,757	120

4. 補足情報

(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間		当第2四半期 累計期間		前年同期比	
		自平成29年4月1日 至平成29年9月30日		自平成30年4月1日 至平成30年9月30日		金額	比率
		金額	構成比	金額	構成比		
重衣料	スーツ・スリーピース	21,172	28.7	19,831	27.7	△1,340	93.7
	ジャケット	2,775	3.8	2,575	3.6	△200	92.8
	スラックス	4,937	6.7	4,534	6.4	△402	91.9
	コート	277	0.4	243	0.3	△34	87.5
	フオーマル	10,514	14.2	10,467	14.7	△47	99.6
	小計	39,677	53.8	37,652	52.7	△2,024	94.9
軽衣料	シャツ・洋品類	13,454	18.2	12,956	18.1	△498	96.3
	カジュアル類	2,091	2.8	1,914	2.7	△176	91.6
	その他商品	5,315	7.2	5,487	7.7	171	103.2
	小計	20,862	28.2	20,358	28.5	△503	97.6
レディス類	10,540	14.3	10,583	14.8	42	100.4	
ポイント還元額	1,177	1.6	1,158	1.6	△19	98.3	
補正加工賃	1,559	2.1	1,727	2.4	168	110.8	
合計	73,817	100.0	71,480	100.0	△2,336	96.8	

(注) 1. その他商品は、靴・肌着・雑貨等であります。

2. レディス類には、レディススーツやレディスフオーマル、レディス洋品類、パンプス等が含まれております。

(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数(平成30年9月末現在)

(単位：店)

地域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	ホワイト ザ・スーツ カンパニー	合計
北海道	34	1	1			36
北海道地方計	34	1	1	0	0	36
青森県	9					9
岩手県	8					8
宮城県	13	1				14
秋田県	10					10
山形県	9					9
福島県	10					10
東北地方計	59	1	0	0	0	60
茨城県	18					18
栃木県	10					10
群馬県	14	1				15
埼玉県	45	4	1			50
千葉県	42	3	1			46
東京都	80	17	4	1	3	105
神奈川県	49	7	2		2	60
関東地方計	258	32	8	1	5	304
新潟県	16	1				17
富山県	7					7
石川県	9	1				10
福井県	5					5
山梨県	4					4
長野県	14					14
岐阜県	13					13
静岡県	26	1				27
愛知県	47	1				48
中部地方計	141	4	0	0	0	145

(単位：店)

地 域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	ホワイト ザ・スーツ カンパニー	合計
三重県	14					14
滋賀県	10	1				11
京都府	18	1				19
大阪府	46	5		2	3	56
兵庫県	38	3			1	42
奈良県	9					9
和歌山県	8					8
近畿地方計	143	10	0	2	4	159
鳥取県	3					3
島根県	5					5
岡山県	11	2				13
広島県	19	3				22
山口県	12					12
中国地方計	50	5	0	0	0	55
徳島県	5					5
香川県	7					7
愛媛県	9	1				10
高知県	5					5
四国地方計	26	1	0	0	0	27
福岡県	31	3			1	35
佐賀県	8					8
長崎県	7					7
熊本県	11	1				12
大分県	9					9
宮崎県	10					10
鹿児島県	12					12
沖縄県	7					7
九州地方計	95	4	0	0	1	100
合計	806	58	9	3	10	886

(注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサル ランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

2. 店舗の出退店等の状況（当第2四半期まで（4月～9月））

	出店		閉店
		内 建替	
洋服の青山	1	1	6
ザ・スーツカンパニー	1		1
ユニバーサル ランゲージ			4
計	2	1	11